



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社 NITTOH

上場取引所 名

コード番号 1738 URL <https://www.nittoh-info.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 寿朗

TEL 052-304-8210

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,010	9.3	218	58.8	229	50.7	151	54.3
2023年3月期第2四半期	4,584	3.4	137	14.6	152	10.9	98	12.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 160百万円 (58.3%) 2023年3月期第2四半期 101百万円 (3.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	37.49	
2023年3月期第2四半期	24.30	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,551	4,188	55.5
2023年3月期	6,819	4,089	60.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,188百万円 2023年3月期 4,089百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		15.00	15.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	5.4	450	30.3	470	24.5	320	43.8	78.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	4,060,360 株	2023年3月期	4,060,360 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	7,257 株	2023年3月期	7,257 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	4,053,103 株	2023年3月期2Q	4,053,103 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍での行動規制が緩和されたことにより、国内の企業活動や雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の回復などを背景に、国内景気が緩やかに回復に向かいながら推移いたしました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢による地政学的リスクを背景とした原材料価格やエネルギー資源価格の高止まりが続いており、国内物価上昇への影響をはじめ、さまざまな経済活動に影響を与える景気下振れリスクや金融市場の下振れリスク、世界的な金融引締めなどの政策動向による不確実性があり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、住宅建築業界におきましては、住宅取得支援の補助金などの諸政策の継続、住宅ローン金利の低水準の推移などありましたが、物価上昇に伴う個人消費者の住宅購入意欲の低下、原油価格・物流コストの上昇などによる建設資材価格の高止まりが続いており、本格的な回復には至らない厳しい状況で推移いたしました。

当社グループでは、主に建設工事業において、既存の戸建住宅や集合住宅向けのリフォーム工事や改修防水工事、また、光熱費値上がりへの関心の高まりから、太陽光発電システム及び蓄電池設置の工事が増加し、個人宅向け販売用土地などの不動産売却が堅調に推移し、業績が伸長しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,010百万円(前年同四半期比9.3%増)となり、営業利益は218百万円(前年同四半期比58.8%増)、経常利益は229百万円(前年同四半期比50.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は151百万円(前年同四半期比54.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて731百万円増加し、7,551百万円となりました。主な増減は、事務所建設用地の取得に伴う土地の増加331百万円、現金及び預金の増加258百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加66百万円、棚卸資産の増加54百万円があったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて632百万円増加し、3,362百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加479百万円、未成工事受入金などその他流動負債の増加136百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加60百万円、未払法人税等の増加27百万円があったものの、支払手形及び買掛金の減少84百万円があったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて99百万円増加し、4,188百万円となりました。主に利益剰余金の増加91百万円、その他有価証券評価差額金の増加8百万円があったことによるものであります。

## (キャッシュ・フロー状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、258百万円増加(前年同四半期は27百万円の減少)し、当第2四半期連結会計期間末には1,622百万円(前年同四半期は1,253百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、205百万円(前年同四半期は0.7百万円の減少)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益229百万円に加えて、未成工事受入金などその他の増減による資金の増加183百万円があったものの、仕入債務の減少による資金の減少84百万円、売上債権及び契約資産の増加による資金の減少66百万円、棚卸資産の増加による資金の減少54百万円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、426百万円(前年同四半期は104百万円の減少)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入27百万円があったものの、定期預金の預入による支出27百万円、事務所建設用地の取得や建設費用など有形固定資産の取得による支出426百万円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、479百万円(前年同四半期は78百万円の増加)となりました。これは、主に長期借入の実施による収入600百万円があったものの、長期借入金の返済による支出60百万円、配当金の支払額60百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当四半期におきましては、ほぼ計画どおりに業績が推移しておりますので、2023年5月9日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,398,629	1,656,667
受取手形、売掛金及び契約資産	1,236,052	1,302,437
棚卸資産	1,042,662	1,097,138
その他	111,574	59,410
貸倒引当金	△1,468	△1,368
流動資産合計	3,787,450	4,114,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	932,196	908,119
土地	1,643,071	1,974,745
その他（純額）	30,688	123,984
有形固定資産合計	2,605,956	3,006,848
無形固定資産		
その他	10,648	10,228
無形固定資産合計	10,648	10,228
投資その他の資産		
その他	415,924	420,460
貸倒引当金	△400	△400
投資その他の資産合計	415,524	420,060
固定資産合計	3,032,129	3,437,138
資産合計	6,819,580	7,551,424

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	869,604	785,034
短期借入金	510,000	510,000
1年内返済予定の長期借入金	90,396	150,396
未払法人税等	45,100	72,167
賞与引当金	117,350	124,791
完成工事補償引当金	22,100	21,800
その他	280,911	416,918
流動負債合計	1,935,462	2,081,108
固定負債		
長期借入金	188,006	667,808
退職給付に係る負債	431,783	436,347
長期未払金	9,840	9,840
その他	165,195	167,603
固定負債合計	794,824	1,281,598
負債合計	2,730,286	3,362,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,072	186,072
資本剰余金	145,813	145,813
利益剰余金	3,735,389	3,826,548
自己株式	△1,883	△1,883
株主資本合計	4,065,391	4,156,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,902	32,166
その他の包括利益累計額合計	23,902	32,166
純資産合計	4,089,294	4,188,716
負債純資産合計	6,819,580	7,551,424

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	4,584,372	5,010,522
売上原価	3,364,867	3,659,618
売上総利益	1,219,505	1,350,904
販売費及び一般管理費	1,081,644	1,132,032
営業利益	137,861	218,872
営業外収益		
受取利息	93	8
受取配当金	1,123	1,106
受取手数料	1,418	1,527
受取保険金	5,084	90
受取賃貸料	9,279	9,281
その他	3,287	5,751
営業外収益合計	20,284	17,765
営業外費用		
支払利息	2,375	2,834
賃貸費用	2,681	3,431
その他	513	475
営業外費用合計	5,570	6,740
経常利益	152,575	229,896
税金等調整前四半期純利益	152,575	229,896
法人税、住民税及び事業税	53,996	73,955
法人税等調整額	100	3,985
法人税等合計	54,096	77,940
四半期純利益	98,478	151,955
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,478	151,955



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
四半期純利益	98,478	151,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,711	8,263
その他の包括利益合計	2,711	8,263
四半期包括利益	101,190	160,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,190	160,219

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	152,575	229,896
減価償却費	24,881	26,174
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,642	7,441
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△1,800	△300
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,669	4,563
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	220	△100
受取利息及び受取配当金	△1,216	△1,114
支払利息	2,375	2,834
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	144,086	△66,385
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△145,680	△54,475
仕入債務の増減額 (△は減少)	△107,084	△84,569
その他	△1,891	183,189
小計	85,777	247,156
利息及び配当金の受取額	1,216	1,114
利息の支払額	△2,436	△2,935
法人税等の支払額	△85,327	△39,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	△770	205,679
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△27,860	△27,860
定期預金の払戻による収入	27,860	27,860
有形固定資産の取得による支出	△104,950	△426,024
無形固定資産の取得による支出	△3,340	△621
貸付金の回収による収入	3,634	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,655	△426,646
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	200,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△65,224	△60,198
配当金の支払額	△56,743	△60,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	78,032	479,005
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△27,393	258,038
現金及び現金同等物の期首残高	1,280,467	1,364,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,253,073	1,622,594

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,000,949	699,827	878,639	4,579,416	—	4,579,416
その他の収益(注) 2	4,956	—	—	4,956	—	4,956
外部顧客への売上高	3,005,905	699,827	878,639	4,584,372	—	4,584,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	61	61	△61	—
計	3,005,905	699,827	878,700	4,584,433	△61	4,584,372
セグメント利益	76,073	117,517	68,032	261,623	△123,762	137,861

- (注) 1. セグメント利益の調整額△123,762千円には、セグメント間取引消去14,167千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137,929千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。
2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建設工事業	住宅等サービス事業	ビルメンテナンス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,363,376	738,500	902,356	5,004,232	—	5,004,232
その他の収益(注) 2	6,290	—	—	6,290	—	6,290
外部顧客への売上高	3,369,666	738,500	902,356	5,010,522	—	5,010,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	786	—	380	1,166	△1,166	—
計	3,370,452	738,500	902,736	5,011,688	△1,166	5,010,522
セグメント利益	165,078	136,734	59,934	361,747	△142,874	218,872

- (注) 1. セグメント利益の調整額△142,874千円には、セグメント間取引消去14,267千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△157,142千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部等管理部門に係る費用であります。
2. その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。